第 86 回日本癌学会学術総会

協創力で拓くがん制御への未来戦略

Pioneering Future Strategies for Cancer Control through Collaborative Innovation

募金趣意書

会期:2027 年 9 月 16 日(木)～9 月 18 日(土)

会場:大阪国際会議場・NCB 会館

学術会長　大谷　直子

(大阪公立大学大学院医学研究科

分子生体医学講座・病態生理学　教授)

ご 挨 拶

謹啓

時下、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、第 86 回日本癌学会学術総会を、2027 年 9 月 16 日（木）から 9 月 18 日（土）までの 3 日間、大阪市の大阪国際会議場および NCB 会館を主会場として開催する運びとなりました。

日本癌学会には、大学・研究機関、医療機関、企業等で活動する約 14,000 名の研究者、医師、医療関係者が所属しており、「がん研究を通してがんを制圧する」というミッションのもと、革新的ながんの基礎研究から新規治療法・治療薬の開発を目指した臨床研究までを一体的に推進しております。

第 86 回学術総会では、「協創力で拓くがん制御への未来戦略」をテーマに掲げました。これまで、がんの発症原因や進展過程に関する分子メカニズムの解明が進み、多くの分子標的治療薬が開発されてまいりましたが、依然としてがんの完全な克服には至っておりません。今後は、異分野間の学際連携、基礎・臨床・企業の連携、シニア・中堅・若手研究者の世代を超えた協働、さらには国際連携といった、すべてのがん研究者の知力と連携力を結集する「協創力」によって、がん制御に向けた「未来戦略」を創出していくことが不可欠であると考えております。本学術総会では、こうした目標の実現につながる、がん予防も含めたがん研究の最前線を紹介するプログラムを企画しております。

具体的には、最新かつ先端的な研究トピックスを扱う約 20 のシンポジウム、海外研究者と共同で企画する国際セッションに加え、企業研究者による創薬シンポジウム、教育講演、若手研究者による討論会、最先端テクノロジーの紹介企画、企業−研究者の交流企画など、多彩なプログラムを予定しております。今回は、シンポジウムとは別枠で実臨床の場にも直結するトランスレーショナルなトピックスでワークショップも新規設定いたします。また、日本癌学会が推進する、がん患者と研究者の交流を目的とした「サバイバー・研究者プログラム（SSP）」をはじめ、研究者のキャリア形成や課題解決を支援する研究者ウェルビーイング企画として、Cancer Research Career Forum などの特別企画も実施する予定です。参加されるそれぞれの研究者の立場に寄り添い、がん研究に対するモチベーションと高い満足度を得ていただけるような学術総会を目指しております。

本学術総会の運営につきましては、本来、会員からの参加費により賄うべきところではございますが、内容のさらなる充実と成果の最大化を図るためには、各方面からのご支援を仰がざるを得ないのが現状でございます。誠に厳しい社会情勢の折、甚だ恐縮ではございますが、本学術総会の開催趣旨にご賛同いただき、諸般の事情をご賢察のうえ、何卒格別のご協力とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

本学術総会が、皆様と共に「がん克服・がん制御」という大きな目標に向けた新たな一歩を踏み出す機会となることを切に願っております。本来であれば、直接お伺いしご挨拶申し上げるべきところではございますが、まずは書面をもちましてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2026 年 8 月 吉 日

第 86 回日本癌学会学術総会
学術会長　大谷 直子
（大阪公立大学大学院医学研究科　病態生理学　教授）



開 催 概 要

1. 会議の名称とテーマ

1) 会議の名称

第 86 回日本癌学会学術総会

The 86th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association

2) 会議のテーマ

協創力で拓くがん制御への未来戦略

Pioneering Future Strategies for Cancer Control through Collaborative Innovation

2. 主催・併催機関などの名称

1) 主催機関

一般社団法人 日本癌学会

2) 協力

独立行政法人国際観光振興機構

3) 協賛

未定

3. 開催期間

2027 年 9 月 16 日(木)― 9 月 18 日(土) (本会議 3 日間)

4. 開催場所

大阪府大阪市(大阪国際会議場)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 5 丁目 3―51

電話:06-4803-5555

大阪府大阪市(NCB 会館)

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島 6 丁目 2―27

電話:06-6448-6036

5. 主催責任者

学術会長 大谷 直子

(大阪公立大学大学院医学研究科 分子生体医学講座・病態生理学 教授)

事務局 〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3

大阪公立大学大学院医学研究科 分子生体医学講座・病態生理学

6. 開催実績

なお、この会議の開催状況は、以下のとおりです。

開催年	開催地	会長
2026 年(第 85 回)	京都(日本)	小川 誠司(京都大学)
2025 年(第 84 回)	金沢(日本)	大島 正伸(金沢大学)
2024 年(第 83 回)	福岡(日本)	赤司 浩一(九州大学)
2023 年(第 82 回)	横浜(日本)	間野 博行(国立がん研究センター研究所)

2022年(第81回)　横浜(日本)　村上　善則(東京大学医科学研究所)
2021年(第80回)　横浜(日本)　佐谷　秀行(慶應義塾大学医学部先端医科学研究所)
2020年(第79回)　広島(日本)　安井　弥(広島大学)
2019年(第78回)　京都(日本)　石川　冬木(京都大学)
2018年(第77回)　大阪(日本)　森　正樹(大阪大学)
2017年(第76回)　横浜(日本)　中釜　斉(国立がん研究センター)
2016年(第75回)　横浜(日本)　宮園　浩平(東京大学)

7.　日本癌学会の活動方針

日本癌学会は、「がん研究を通じて人類の健康と福祉に貢献する」という理念のもと、学会活動を推進しています。今後さらに魅力ある学会への変革を目指し、3 つの活動方針に基づいて、日本および世界のがん研究の発展、そしてがんの克服に貢献してまいります。

1. 日本癌学会は、日本国内のすべてのがん研究者、がん医療者、ならびに関連分野の研究者による研究交流を促進するとともに、がん患者・家族との連携も重視していきます。これにより、先進性と多様性を備えたがん研究の基盤を築き、革新的な基礎研究から予防・診断・治療に至る応用・臨床研究の発展を通じて、国民の健康と福祉に貢献します。
2. 日本癌学会は、将来のがん研究を担う若手研究者および女性研究者を含むすべてのがん研究者の躍進と挑戦を支援・奨励します。これにより、日本のがん研究が国際競争の中で持続的かつ一層発展することを目指します。
3. 日本癌学会は、アジア諸国をはじめとする海外のがん研究者との情報交換や連携の場を創出し、国際交流を促進します。これにより、国際的に活躍するがん研究者の育成や国際共同研究の推進を通じて、がん研究のグローバルな発展に貢献します。

2025 年 7 月 15 日　理事長挨拶より

8.　開催計画の概要

1)　会議日程

9 月 16 日(木)	午前	開会式
		特別シンポジウム
		日本癌学会奨励賞受賞講演　他
	午後	CS Associate Editors' Meeting
		特別講演
		ミート・ザ・エディター
		ポスターディスカッション　他
9 月 17 日(金)	午前	Cancer Science　ヤングサイエンティストアワード受賞講演
		特別企画
		腫瘍別シンポジウム　他
	午後	ノーベル賞受賞者講演
		特別シンポジウム
		コーヒーブレイクセミナー　他
9 月 18 日(土)	午前	教育講演
		シンポジウム
		インターナショナルセッション　他
	午後	General Assembly Award Ceremony
		公募シンポジウム
		インターナショナルセッション　他

2)　主要トピックス

プレナリーセッションテーマ:2026 年 6 月～開催 プログラム委員会にて検討

シンポジウムテーマ:2026 年 6 月～開催 プログラム委員会にて検討

3)　参加予定者

国内	4,200 名
海外	300 名
合計	4,500 名

4)　参加予定国 11 ヶ国・地域

日本、アメリカ、台湾、インド、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、韓国、カナダ、中国(予定)

5)　会議使用言語

日本語・英語(セッションによって異なる)

9.　寄附金を必要とする理由

第 86 回日本癌学会学術総会では海外 300 名、国内 4,200 名、計 4,500 名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は 213,706,000 円が見込まれています。登録料を低額に抑えたいとの事由により総額 213,706,000 円から、参加費等自己負担額 54,100,000 円、補助金等 34,000,000 円、展示会・広告掲載・企業セミナー費 122,606,000 円を除く不足額、3,000,000 円を諸企業及び諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。従いまして、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄附金にて充当したいと存じます。

10.　収支予算(案) ※2026 年 6 月時点

単位:円

収支区分	金 額
(収 入)	
1. 自己負担金(参加登録費等)	54,100,000
2. 諸収入等(展示会等)	122,606,000
3. 補助金／助成金等	34,000,000
4. 寄附金等	3,000,000
収入合計	213,706,000
(支 出)	
1. 会議準備費	16,949,244
2. 会議運営費	137,545,857
3. 展示会等	34,960,670
4. 募金経費	2,175,000
5. 事後処理費	22,075,229
支出合計	213,706,000

11.　寄附金募集要項

(1)　募金の名称

第 86 回日本癌学会学術総会　寄附金

(2)　募金の目標額

3,000,000 円(総額 213,706,000 円の内)

(3)　募金期間
2026 年 7 月 21 日　～　2027 年 9 月 15 日
（注：会議開催日前の銀行営業日まで）

(4)　寄附金の使途
第 86 回日本癌学会学術総会の準備並びに運営に関する費用に充当します。

(5)　寄附金申込先
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 10 階
独立行政法人国際観光振興機構
MICE プロモーション部　誘致推進グループ
寄付金・交付金制度担当者 宛
TEL：03-5369-6015　FAX：03-3350-3650
E-mail：cvnews@jnto.go.jp

(6)　学術総会に関するお問い合わせ
〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3-19-3　PIAS TOWER 11 階
第 86 回日本癌学会学術総会　運営事務局
株式会社コンベンションリンケージ内
電話：06-6377-2188　ファックス：06-6377-2075
E-mail: jca2027@c-linkage.co.jp

(7)　寄附金振込方法
別紙のフローチャート通りとなります。
別紙申込書を国際観光振興機構にお送りください。
寄附金申込書を受領し確認次第、国際観光振興機構より寄附金申込受理書を送付いたします。
寄附金申込受理書の受領後、指定口座番号にお振込ください。

(8)　税法上の扱い
この寄附金は、特定公益増進法人である独立行政法人国際観光振興機構への寄附金として、税法上の一般寄附金とは別途に損金算入等の優遇措置が講ぜられます。

（様式第5号）

寄附金申込書

年　月　日

独立行政法人国際観光振興機構
理事長　殿

寄附申込者
ふりがな
名　称
住　所　〒

ふりがな
氏　名　　印

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律（平成6年法律第 79 号）の趣旨に賛同し、同法第9条に定める業務に供するため、貴振興機構に下記の金額を寄附いたします。

記

1 寄　附　額　　円也

2 寄附金の希望使途　「第 86 回日本癌学会学術総会」開催費用として

3 寄附金の支払予定日　年　月　日

4 連絡先等

寄附申込者 ： □ 法人　□ 個人　（いずれかにチェックしてください）
担当者氏名 ：
部署／役職 ：
TEL/FAX ：
E－mail ：

※寄附金申込書に不備があった際や、寄附金のご返金が必要になりました際に速やかに連絡をするため、ご担当者の連絡先をご記入ください。

本申込書に記載された、氏名・住所・寄附額及び連絡先の個人情報については、機構の寄附金取扱い業務にのみ使用される旨を本紙の提出をもって同意いたします。又、必要に応じて当該会議主催者並びに関係省庁への報告がなされることを併せて同意いたします。

申込書記入の注意事項

（様式第5号）

寄附金申込書

年　月　日

お申込み日を必ずご記入ください。

独立行政法人国際観光振興機構
理事長　殿

寄附申込者
ふりがな
名　称
住　所　〒

寄附者様の情報をご記入頂き、押印をお願い致します。

（※法人でのお申込みの場合は社印、個人でお申込みの場合は個人の印を押印ください。）

ふりがな
氏　名　　印

国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律（平成6年法律第 79 号）の趣旨に賛同し、同法第9条に定める業務に供するため、貴振興機構に下記の金額を寄附いたします。

記

1　寄　附　額　　XX0,000 円也

2　寄附金の希望使途　　「第 86 回日本癌学会学術総会」開催費用として

3　寄附金の支払予定日　　年　月　日

支払い予定日は、お申込み日から1週間～10日後の日にちを設定してください。

（お申込み後、弊局より受理書を発行し、その後、お振込みをお願いしております。受理書発行までおよそ7営業日程度かかります。）

4　連絡先等

法人での損金算入をご希望（法人申込み）の場合には　⇒　法人
個人での免税をご希望（個人申込み）の場合には　⇒　個人

寄附申込者　：　☐ 法人　☐ 個人　（いずれかにチェックしてください）

担当者氏名　：

部署／役職　：

TEL／FAX　：

E－mail　：

お申込書の内容について弊局よりご連絡させていただく場合がございます。

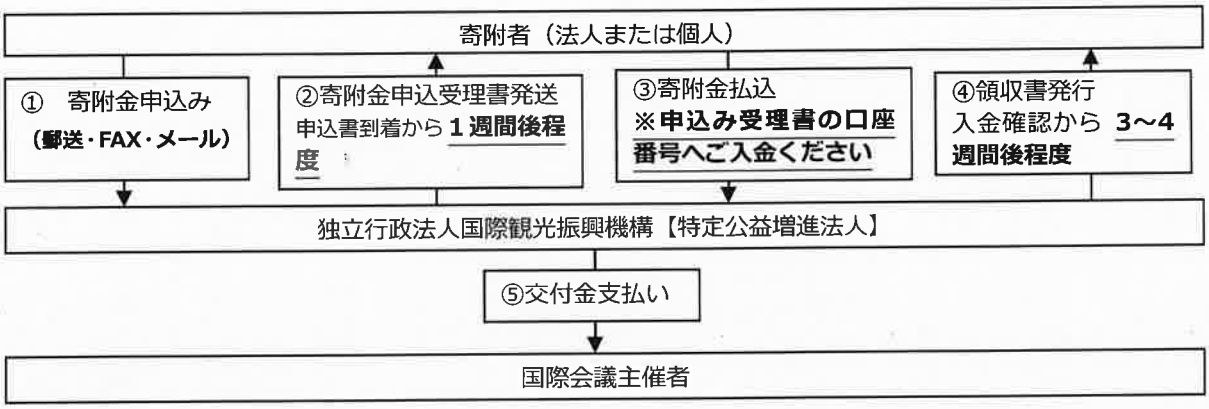
法人・個人どちらの場合でもご担当者様のご連絡先（電話番号、E-mail）は必ずご記入下さい。

※寄附金申込書に不備があった際や、寄附金のご返金が必要になりました際に速やかに連絡をするため、ご担当者の連絡先をご記入ください。

本申込書に記載された、氏名・住所・寄附額及び連絡先の個人情報については、機構の寄附金取扱い業務にのみ使用される旨を本紙の提出をもって同意いたします。又、必要に応じて当該会議主催者並びに関係省庁への報告がなされることを併せて同意いたします。

寄附の手順

第 86 回日本癌学会学術総会



① 寄付金の申込み

寄附金申込書（様式第５号）に必要事項を記入し、当機構宛てにご郵送、FAX、またはメール(申込書をスキャンして添付)にてお送りください。

※申し込みをされてから、すぐにご入金いただけるわけではございません。申込書の受領後、１週間～10 日ほどお時間がかかりますので、ご注意ください。

(記入内容に押印不足等の不備がある際は申込書を返送し、修正したものを改めてお送りいただきますのでご了承ください)

申込書送付先：〒160-0004　東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER 10 階
独立行政法人国際観光振興機構　MICE プロモーション部　誘致推進グループ　寄附金・交付金制度担当者 宛
TEL：03-5369-6015　　FAX：03-3350-3650　　e-mail：cvnews@jnto.go.jp

② 寄附金申込受理書の発送

前記の寄附金申込書を受領し確認次第、当機構から寄附金申込受理書（様式第６号）を送付いたします。

受理書に記載されている寄附金払込み口座宛に寄附金のご入金をお願い致します。

※受理書の発行には１週間～10 日ほど時間がかかりますので、入金日にご注意いただくようにお願いします

③ 寄附金の払込み

振込先口座の情報は寄附金受理書に記載してありますので、寄附金は**必ず当機構指定の寄附金払込み口座宛**にお振り込み頂くようにお願い致します。（振込手数料は寄附者様にてご負担ください。）

※申込書をお送りいただいても、当機構指定口座以外へのご入金は、課税優遇措置の対象外となりますので、ご了承ください

お振込は、会議開催日の前、２０２７年９月１５日（水）までにお願いします。

注）銀行間の為替記号では、独立行政法人は ﾄﾞｸ）となるため、お振込の際は　ﾄﾞｸ）ｺｸｻｲｶﾝｺｳｼﾝｺｳｷｺｳ ｺｳﾌｷﾝｼﾞｷﾞｮｳ とご記載下さるようお願いします。

④ 領収書の送付

ご入金が確認され次第、当機構は領収書（様式第７号）を発行・送付いたします。領収書は大切に保管して下さい。

お振込み頂きました寄附金につきましては、特定公益増進法人に対する寄附金として所得税法および法人税法上、課税優遇措置がうけられます。

なお、国際観光振興機構は所得税法施行令第２１７条、法人税施行令第７７条の特定公益増進法人の「１号法人」に指定されておりますため、所轄官庁発行の「証明書」はございません。

⑤ 交付金の支払い

寄附金は、当機構から主催者に交付金　として交付します。